



「よき伝統」をつなぐ

10月、ようやく暑さも落ち着き、過ごしやすい季節となりました。さて、先月29日、おおい町総合運動公園で行われた大飯郡小学校連合体育大会には、本校から5・6年生74名が参加しました。

コロナ禍での大会であったため、半日での開催となり、参加者を限定し、競技方法を変更するなど例年とは異なるものとなりましたが、トラック・フィールド競技共に子どもたちが大活躍し、一人一人の大きな成長が感じられる大会となりました。

この大会に向けて、9月初めより、約1ヶ月間、子どもたちは、熱心に練習に取り組みました。練習は、時に厳しくつらいものだったと思いますが、自分の目標を実現するためにあきらめずに挑戦する姿は、大変素晴らしいものでした。



チーム高浜小（6年）

特に、小学校最後の大会となった6年生は、練習に取り組む姿勢だけではなく、友だちに対する励ましや応援の態度でも「チーム高浜小」のリーダーとしてふさわしいものでした。長年引き継がれてきた高浜小学校の「よき伝統」というバトンを、5年生に見事につなぐことができたと思います。

今後、子どもたちが大会を通して学んだこと、身につけた力を生活や学習の場で生かしていくことを期待しています。

笑顔あふれる「ふれあい活動」

10月9日にPTA主催の「親子ふれあい体験活動」を実施しました。

36名の講師の先生方をお招きし、4会場に分かれて17の体験活動を行いました。各会場では、子どもたちや参加された方の笑顔が見られ、充実した時間を過ごされたのではないかと思います。



陶芸教室

このように、親子や家族と一緒に様々な体験をすることの良さは、なんと言っても「心が豊かになる」ということです。また、「探究心」や「コミュニケーション能力」など「生きる力」も育まれると言われています。

今後もPTA活動を通して、学校と保護者や地域の皆様が協力し、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。今回、講師としてお世話になった先生方、また、準備や運営をお世話になったPTA役員の皆様、誠にありがとうございました。



野球教室

読書に親しもう

10月下旬には、例年「読書週間」が設定されています。「読書週間」は、戦後まもなく「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という趣旨のもとに始まりました。この季節特有の穏やかな天候の中で、「読書の秋」を満喫したいものです。



しかし、近年「読書離れ」という言葉が聞かれるようになり、社会全体の本離れが進んでいるようです。また、学校での子どもたちの現状を見てみると、その読書量には、大きな個人差があるように思われます。これは、社会全般の大人にもあてはまることではないでしょうか。

学校では、「朝読書」の時間を設定して毎日の読書を習慣化するだけでなく、「読み聞かせ」や図書室のリニューアル、新刊図書の購入など、様々な手立てを行っています。

そして、子どもたちが図書室に足を運び読書に親しむこと、授業などで積極的に図書室を活用することにも取り組んでいます。今後も、子どもたちが読書を好きになるような工夫を行い、読書の輪を広げていきたいと考えています。



健やかな成長の基盤

今でこそ一年中様々な食品を食べられるようになりましたが、以前は「秋」とう季節にしか食べられない旬の食品が多くありました。果物で言うと、ぶどうや柿、なしがそれにあたります。果物以外では、栗、しいたけ、かぼちゃ、さつまいもなどの野菜、サケ、イワシ、カツオ、サンマなどの魚も秋のものが一番おいしいようです。このようにおいしい食べ物が出回る秋は「食欲の秋」とも言われます。食べ物が手に入りにくくなる冬を前にたくさん栄養をとって体の中にエネルギーを蓄えようとする生き物の本能が私たち人間の食欲にも関係していると考えられています。



さて、健康な生活にとって大切なものの一つに「バランスのとれた食事」があります。学校では、家庭科や保健の学習で「栄養素」や「バランスのとれた食事」など「食育」の学習を行っています。

特に食育の要である「学校給食」については、栄養教諭が栄養バランスを考えて献立を作成し、給食センターで調理をしていただいています。今後も「感謝の心」を忘れず、食育を進めていきたいと思えます。子どもたちの健やかな成長には、調和のとれた食事が欠かせません。そして、その基盤となる「食育」を含めた基本的な生活習慣を学校とご家庭で一緒になって身につけさせることが大切になってきます。この機会に、日頃の食事についてお子さんと振り返っていただければと思います。